

## ひびき金港町保育園平成29年度自己点検・自己評価

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かしていきたいと思  
います。

- ・ A・B・C・D の4段階評価をします。
- ・ 項目ごとに、意見・改善策を記述しています。

A : たいへんよい  
 B : よい  
 C : 一部検討を要する  
 D : 改善を要する

### ☆保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策
保育 目標 につ いて	(1) 保育億票の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているのか。	○				早寝早起きなど子どもの成長に必要な生活リズムを整える事を中心に子どもたちの実態を踏まえ目標を設定した。
	(2) 目標は社会要請や保護者の願いを反映しているか。		○			保護者懇談の際の要望や地域の情報を受けとめ各クラスの目標に生かすようにした。
	(3) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				内部研修などで園目標について学習し共通理解を図った。
保育 につ いて	(1) 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				年間計画・月案・週案など各クラス子どもの成長を見ながら毎月振り返りを行い作成している。
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を工夫しているか。		○			子どもたちの遊びを保障し、生活しやすい環境づくりを意識し工夫している。
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				活用して物作りなどを行っている。
	(4) 評価結果を基に、保育改善に努めているか。		○			毎月振り返り、月案に反映させて改善につなげた。
行事 につ いて	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			適切である。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			行事の前の会議では、ねらいを必ず話し合うようにしている。
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			クラスごとで発達にあった取り組みを行った。
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				行事後に会議などで反省し、次年度に生かすようにした。
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			すべての行事が初回だったため、意見を取り入れるのは難しかったが今後は行事後のアンケートを実施するなどして対応していきたい。

### ☆保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策	
経 営 ・ 組 織	分 掌 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			経験年数に合わせ、会議を行う、役割を担う、など組織的な運営を行った。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			職員ノートでインフォメーションを随時行い協働した。
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○				適材・適所であった。
		(4) 係や仕事分担・割り当ては適切か。	○				係・担当役を決め、役割を明確にした。
運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			全体会議クラス会議など効率的に行ったが職種別会議ができると良かった。	
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				できる限りのことは行った。	
	(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			限りある時間の中でできるだけことは行ったが、今後は検討。	

	項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策
経営・組織	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			保育目標・重点目標に基き各クラス年間の目標を設定している。
		(2) 年齢別・クラス目標は・乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			月齢差や環境の変化などに考慮しながら設定をしている。
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				各クラス毎月の会議で子どもの実態に合わせ、ねらいの見直しを行った。
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				月齢を考慮し異年齢のグループ保育を行い、仲間意識や憧れを持つなど効果が見られた。
		(5) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○				全体会議録・クラス会議録など必ず書き集積した。
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			各クラス手洗い・うがいの励行を行うなど保健対策を行った。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				計画に基づいて計画的に実施した。
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			感染症のお知らせ・園だよりなどで各家庭に伝えた。
	所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○				園の特色ある保育について学び保育の計画に反映させた。
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。		○			日程等をもう少し明確にしたほうが良かった。職員から内容についての要望を募ることが必要。
(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○				手遊び・わらべ歌・踊り、エイサーなど日常の保育に生かせることができた。	
研究・研修	所外研究・研修	(1) 各種研究会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			園外研修会のインフォメーションを行い参加者を募った。職員全員が研修に参加できるよう計画を立てた。
		(2) 各種研究会、講習会での内容を園内に還元しているか。	○				研修報告書を作成し、報告は会議に必ず盛り込んだ。

## まとめ

◎ 開園一年目ということではまず、子どもたちの安全面に留意し事故なく過ごすこと、また、情緒の安定を図るとともに心身の健康を保障し、日々楽しく遊び生活できることを目指した。

◎ 午前睡眠やリズム運動等特色のある保育を実践し、一人一人の保育者が私たちの保育が子どもたちの生涯の基礎を培うものであることを自覚し、真剣に保育に向き合うことを課題とした。園内・外の研修で意識の向上と保育技術の習得を心がけたが、終わりではなく今後も引き続き皆で努力していきたいと思う。

◎ 行事の取り組みは、すべて初めての取り組みだったので準備が遅くなってしまったことが反省点であるが、日本の伝統や文化に触れる、保護者とともに喜んで参加するなど子どもたちの成長につなげることができた。

◎ 保護者の意見を十分に保育に反映することができたか疑問が残るが、引き続き家庭との連携を大切に子どもたちの最善の利益を考え協力していく。

◎ 地域への子育て支援など今年度は取り組むことができなかったため、来年度は園庭開放や育児講座など地域支援を行っていく。